

2024年度マルチリンガル・エキスパート養成学部プログラム

学部生対象__ガイダンス

開催日時 2024年1月22日（月）12時開場 12時10分～13時20分

開催場所 豊中キャンパス：DAICEL STUDIO

次 第

1. マルチリンガル・エキスパート養成プログラムについて

<人文学研究科／竹村景子教授>

2. 2024年度の外国語学部生対象プログラムについて

<人文学研究科／田所朱莉特任助教>

3. 先輩履修生から体験談

4. 質疑応答等

マルチリンガル・エキスパート 養成プログラム (MLE) 学部プログラムガイダンス

全学教育推進機構
サイエンスcommons実験棟
DAICEL Studio

2024年1月22日 (月)

マルチリンガル・エキスパート養成プログラム (MLE)

外国語学部を擁する唯一の国立総合大学である大阪大学の利点を活かして高い外国語能力と、「人文学」、「人間科学」、「法学・政治学」、「経済学・経営学」、「理学」、「工学」、「基礎工学」、「数理・データサイエンス・AI」等、専門知識を身につけた真のグローバルで有為な人材を育てることを目的として開設された副専攻的な**横断型の教育プログラム**である。

2024年度に開設する学部プログラム

1. 英語・英米文化学
2. インドネシア語・インドネシア研究
3. ベトナム語・東南アジア研究
4. ウルドゥー語・南アジア地域文化研究
5. スワヒリ語・アフリカ研究
6. デンマーク語・北欧研究
7. イタリア語・イタリア文化学
8. スペイン語・スペイン文化学
9. ポルトガル語・ポルトガル語圏文化学
10. ハンガリー語・ハンガリー研究 2024年度新設！！

New

募集について

募集対象者

2024年度(令和6年度)

大阪大学の学部の**2、3年次**に在籍する正規学生

募集人数

いずれも若干名

プログラムの履修申請 選考方法について

履修申請書について

MLE事務担当にメールで申請。もしくは、外国語学部算面事務部MLEまたは豊中分室の窓口
に提出。

メールのタイトル【MLE申請_プログラムの名前_学籍番号_氏名】を明記すること。

申請期間 2024年1月15日（月）～2月21日（水）12：00必着

成績証明書について

履修申請書を提出した後、MLE事務担当にメールで提出。もしくは、所属学部の教務係に提出。

メールのタイトル【MLE成績証明書_プログラムの名前_学籍番号_氏名】を明記すること。

※成績証明書にはPWを付けること。

提出期限 2024年3月4日（月）16:00必着

※文学部、人間科学部、法学部、経済学部、理学部以外の学生はMLE担当に提出すること。

開設部局の定める方法により履修生を選考し、履修者を決定する。
必要に応じて面接を課すことがある。3月末ごろに合格者に通知。

2024年度

MLE学部プログラム

履修申請書



科目履修申請と履修登録について

登録期間中（4月上旬）に、

所定の履修科目申請書をMLE担当者にメールで申請。

MLE : multilingual@office.osaka-u.ac.jp

~~英語・英米文化学については、申請書+検定試験のスコアが必要~~

※法学部の学生は登録単位数の上限が決められているので、注意すること！

別表：英語・英米文化学プログラム・2024年度検定試験スコアの提出について

「英語・英米文化学構成科目」の履修については、所定の検定試験のいずれかを受検し、基準を満たすスコアの写し（画像）を期限までに提出する必要があります。有効取得日、提出期限に注意のうえ、遺漏のないよう手続きしてください。

履修・修得科目		各種要件等				プログラム 修了要件	有効取得日	提出期限	
・英語(語学・文学・文化・コミュニケーション) a	2024年度 春～夏学期 履修登録要件						入学以後に取得したもの	履修申請時にメール添付	最終期限：2024年4月19日(月)
		2024年度 春～夏学期 単位修得要件					入学以後で、なおかつ 2023年4月1日以降	単位修得年度の1月末日	
・英語(語学・文学・文化・コミュニケーション) b	2024年度 秋～冬学期 履修登録要件						入学以後に取得したもの	履修申請時にメール添付	最終期限：2024年10月18日(金)
		2024年度 秋～冬学期 単位修得要件					入学以後で、なおかつ 2023年4月1日以降	単位修得年度の1月末日	2025年1月24日(金)
・(英語学・英文学・英語会話・英語作文) I a ・(英語学・英文学・英語会話・英語作文) II a ・英米文化 (I、II、III、IV、V、VI) a		2024年度 春～夏学期 履修登録要件					入学以後に取得したもの	履修申請時にメール添付	最終期限：2024年4月19日(月)
・(英語学・英文学・英語会話・英語作文) I b ・(英語学・英文学・英語会話・英語作文) II b ・英米文化 (I、II、III、IV、V、VI) b		2024年度 秋～冬学期 履修登録要件					入学以後に取得したもの	履修申請時にメール添付	最終期限：2024年10月18日(金)
			2024年度 秋～冬学期 単位修得目安				入学以後で、なおかつ 2023年4月1日以降	単位修得年度の1月末日	2025年1月24日(金)
・AcademicWritingCoursea/b ・AcademicPresentationCoursea/b ・WorldEnglishSeminar/a/b		2024年度 春～夏学期 履修登録要件					入学以後に取得したもの	履修申請時にメール添付	最終期限：2024年4月19日(月)
			2024年度 秋～冬学期 履修登録要件				入学以後に取得したもの	履修申請時にメール添付	最終期限：2024年10月18日(金)
プログラム修了要件							入学以後でプログラム修了 年度の前年度または当該年 度に取得したもの	プログラム修了年度の1月末日	
試験 種類	実用英語技能検定	準1級以上	準1級以上	準1級以上	—	※基準を満たす有効取得日内のスコアを過去に提出済みの場合は、再度の提出は不要です。 ※実用英語技能検定は更新制ではないため、入学以後に取得したものであれば特に有効期 限を定めません。 ※学内で実施される団体試験 (TOEIC-IP、TOEFL-ITP) のスコアも有効とします。 ※〔英語学・英文学・英米文化・英語会話・英語作文) I b・II b〕の単位修得要件中に提 示した点数はあくまで目安 (単位修得に必要と想定される点数、目標とすべき点数) で あり、基準点 (必要条件) ではありませんが、提出されたスコアを参考にしたいうえで成 績評価がなされます。			
	TOEIC (L&R)	580点以上	630点以上	730点以上	820点以上				
	TOEFL-ITP	500点以上	520点以上	550点以上	580点以上				
	TOEFL (iBT)	61点以上	68点以上	82点以上	92点以上				
	IELTS (Academic)	5.0以上	5.5以上	6.0以上	6.5以上				
【提出方法】 (履修申請時) 科目履修申請時にスコアを証明する箇所 (検定試験の種類、受検年月日、氏名、スコアが印字されている部分) の画像を、メールに添付して履修科目とともに送付してください (送付先アド レス (マルチリンガル・エキスパート養成プログラム (MLE)) : multilingual@office.osaka-u.ac.jp、詳細はホームページ (http://www.mle.osaka-u.ac.jp/) を確認してください)。 (単位修得時およびプログラム修了時) 表中の提出期限までに、スコアを証明する箇所 (検定試験の種類、受検年月日、氏名、スコアが印字されている部分) の画像を、メールに添付して送付してください (送付先アドレス (マル チリンガル・エキスパート養成プログラム (MLE)) : multilingual@office.osaka-u.ac.jp、詳細はホームページ (http://www.mle.osaka-u.ac.jp/) を確認してください)。									

修了認定について

マルチリンガル・エキスパート
養成学部プログラムを修了



総長と開設学部、センターの長の連名による
MLE学部プログラムの修了認定証を交付

さらに本プログラムが指定する大学院（人文学研究科、人間科学研究科、法学研究科、経済学研究科、理学研究科、工学研究科、国際公共政策研究科）へ進学し、指定の大学院プログラムを修了すると、**マルチリンガル・エキスパート養成プログラム（全課程）**の修了認定証が交付される。

※ショートプログラムは、学部プログラムの修了認定はされるが、大学院プログラムと合わせてのマルチリンガル・エキスパート養成プログラム修了認定はされない。

マルチリンガル・エキスパート 養成大学院プログラム(MLE)①

- 人文学（グローバル・アジア・スタディーズ）プログラム
- 人文学（グローバル・ユーロ・スタディーズ）プログラム
- 人間科学（共生の生態）プログラム
- 法学・政治学プログラム
- 経済学・経営学プログラム
- 大学院生のための工学プログラム
- 国際公共政策学プログラム
- データサイエンスプログラム

人文学研究科 外国学専攻、言語文化学専攻、日本学専攻（応用日本学プログラム）の学生が、副専攻的、体系的に学修することができるプログラム

マルチリンガル・エキスパート 養成大学院プログラム(MLE)②

● 言語文化学プログラム

大阪大学の大学院生（人文学研究科外国学専攻を除く）が、
副専攻的、体系的に学修することができるプログラム

マルチリンガル・エキスパート 養成大学院プログラム(MLE)③

マルチリンガル・エキスパート養成学部プログラムレギュラープログラム（24単位）

マルチリンガル・エキスパート養成大学院プログラム（14単位）を修了すると

マルチリンガル・エキスパート養成プログラム修了認定証（全課程）が授与されます。

※ショートプログラム、高度副プログラムの履修では授与されません。

Academic English Support Desk について

MLEのAcademic English Support Deskプログラムでは、大阪大学に所属する学生（学部生・大学院生）と教職員（教員・研究員・職員）を対象に、国際学会を念頭に置いた英語プレゼンテーションの個人指導、英文論文執筆サポート、各種検定試験対策指導や、国際学会での発表前後、質疑応答などの場面を想定した会話練習といった、受講者の研究活動をサポートする英語指導を行っています。

サポートデスクの場所（個人指導）は吹田キャンパスに設置されています。

▣医学系研究科附属最先端医療

イノベーションセンター棟2Fセミナー室B(225教室)

学部生対象 プログラム紹介



1

2024年度新設 ハンガリー語・ハンガリー研究 プログラム




2

ハンガリーについて

首都：ブダペスト
公用語：ハンガリー語
人口：971万人
面積：93,030 km²




ハンガリーは中央ヨーロッパに位置する内陸の国です。首都ブダペストはドナウ川によって二分されています。ブダ側には王宮の丘があり、一方ペスト側には国会議事堂、聖イシュトヴァーン大聖堂、オペラハウスなど堂々とした、あるいは美しい建物が数多く見られます。ドナウ川に最初にかげられたセーチェーニ鎖橋も見どころの一つです。全国各地に温泉が湧き、湖全体が温泉というハーヴィーズ湖もあり、多くの観光客をひきつけています。



3

ハンガリー語について

本学は日本でハンガリー語を主専攻として学ぶことができる唯一の大学です。ハンガリー語は本学外国語学部の中で一番新しい専攻語です。ハンガリー語は日本ではあまりなじみがなく、不思議な言語と思われることも多いようです。その理由は、ハンガリーはヨーロッパにあるけれど、言語的には周囲の国々とまるで違っているからです。ハンガリー語は、インド・ヨーロッパ語族ではなく、ウラル語族という言語グループに属し、フィンランド語やエストニア語が近い仲間です。文字こそラテン文字を使用しますが、単語や文法を学んでみると、その独特さに驚かされ、新鮮な魅力を感じると思います。





4

修了要件について

-  本プログラムのルールに沿って、卒業時までには**12単位以上**を修得すること。
-  (初級)ハンガリー語2、ハンガリー語3の4単位が必修。
-  (中級)ハンガリー語12、ハンガリー語13の4単位が必修。
※ハンガリー語中級を履修するには、先にハンガリー語1～5の単位を4単位以上履修していること。

 ハンガリー語4

5

カリキュラムについて①

2024年度の予定(両学期ともに)
語学実習【初級4単位選択必修、中級4単位選択必修】

-  豊中キャンパス開講 初級5クラス
-  箕面キャンパス開講 中級5クラス

 ハンガリー語5

6

カリキュラムについて②

2024年度の予定(両学期ともに)
研究入門・演習・講義【4単位以上選択必修】

-  ハンガリー研究入門 I a, I b
-  ハンガリー研究入門 II b
-  ハンガリー文化演習 IVa, IVb
-  ハンガリー文化講義 II a
-  ハンガリー文化講義 III a

 ハンガリー語6

7

到達目標 (修了時に身に付く能力)

中級レベル (CEFR/A2~B1相当) のハンガリー語の運用能力。

ハンガリーの言語、文学、歴史について、
 基礎的な知識を幅広く身につけ、異文化を正しく理解できる。

 ハンガリー語7

8



9



10



11



12



13

インドネシア語について

インドネシア語

- ・インドネシア共和国の国語・共通語
- ・全国に普及し、多くは第2言語として習得
- ・文字はローマ字

地方語：地域や民族により異なる言語 700言語

MILE Member of The Center インドネシア6

14

趣旨・カリキュラムについて

各自の専門分野のみならず、インドネシア語を修得して将来国際舞台で活躍することに意欲を持つ学生を歓迎します。インドネシア語・インドネシア・東南アジアに関する授業をうけ、インドネシアの現状について学ぶことができます。

MILE Member of The Center インドネシア7

15

到達目標（修了時に身に付く能力）

中級レベル（CEFR/A2～B1相当）のインドネシア語の運用能力。

インドネシアおよび東南アジアの言語、文学、社会、歴史についての基礎的な知識、異文化理解能力。

MILE Member of The Center インドネシア8

16

修了要件について

●本プログラムのルールに沿って、卒業時までには**12単位以上**を修得すること。

- 初級 4単位以上を選択必修
- 中級 4単位以上を選択必修
- 講義科目（概論）は、4単位以上を選択必修。

 インドネシア9

17

授業科目数と開講場所について

2024年度の予定（両学期ともに）

語学実習 **【初級4単位選択必修、中級4単位選択必修】**

- ・ 豊中キャンパス開講 **5クラス（初級）**
- ・ 箕面キャンパス開講 **5クラス（中級）**

「インドネシア語中級（インドネシア語11～15）」を履修するには、
「インドネシア語初級（インドネシア語1～5）」を履修済であることが必要。

 インドネシア10

18

授業科目数と開講場所について

【講義・概論 4単位選択必修】

箕面キャンパス開講
インドネシア文化概論・講義、
インドネシア語学講義

2年生用授業：
東南アジア地域研究概論・歴史概論・社会概論・文化概論

3年生用授業：
東南アジア社会文化演習

 インドネシア11

19

ベトナム語・東南アジア研究 プログラム



 ベトナム1

20

ベトナム語について

ベトナム語は、ベトナム社会主義共和国総人口のおよそ 85% を占めるキン族の母語であり、ベトナムの国語(National Language)です。ベトナムの全54民族の間で共通語として話されるほか、中国、台湾、日本、アメリカ、オーストラリア、カナダ、フランスなどに居住するベトナム系移民によって話されています。

MLE ベトナム2

21

ベトナム語について

現在日本には50万人を超えるベトナム語話者が暮らしており、日本で働く労働者の国籍としてベトナムが第1位になりました。ベトナムに進出する大手日系企業の業種も多岐にわたり、大学でベトナム語を学んだことが、将来貴重なキャリアとして活かせる機会が増えました。

MLE ベトナム3

22

ベトナムについて



MLE ベトナム4

23



タンディン教会、ホーチミン市にあるローマカトリック教会（世界遺産）

MLE ベトナム5

24

ベトナムの食べ物

生春巻き



フォー (ライスヌードル)



バインミー (ベトナムサンドイッチ)




 ベトナム6

25

ベトナム語・東南アジア研究 プログラムについて

ベトナム語が使用される主な地域の文化、文学、社会、歴史などについて、様々な方面から幅広く専門的な知識が身につけられます。

- ・東南アジア社会文化概論
- ・東南アジア地域研究概論
- ・東南アジア歴史概論・
- ・東南アジア文化概論 など。。。

 ベトナム7

26

ベトナム語・東南アジア研究 達成目標(修了時に身に付く能力)

- ①中級レベル (CEFR/A2もしくはB1相当)のベトナム語の運用能力
- ②ベトナム語が使用される主な地域の言語、文学、歴史について、基礎的な知識、異文化理解能力

 ベトナム8

27

ベトナム語・東南アジア研究 履修申請と注意点について

ベトナム語11～15 (中級) を履修するには、先にベトナム語1～5 (初級) を修得していることが必要。

※本プログラムのルールに従って、卒業までに12単位以上を修得すること

 ベトナム9

28

ウルドゥー語・南アジア地域文化研究 プログラム



MLE ウルドゥー-1

29

ウルドゥー語について①



ウルドゥー語(Urdu)は、南アジアを中心に話されている言語で、パキスタンの国語であり、インドの主要言語の一つです。
文字はペルシア=アラビア文字を用いており、インド・ヨーロッパ語族に属する、現代アリア諸語のひとつです。
日本ではあまり知られていませんが、姉妹語であるヒンディー語と合わせると話者数は英語、中国語について世界第3位**です。**

MLE ウルドゥー-2

30

南アジア地域



MLE ウルドゥー-3

31

ウルドゥー語について②

سکندرانہ جلال

(ウルドゥー文字の例)

文章は右から左に書く
35文字で形成

基のアラビア語の28文字
+ペルシア文字4文字
+ヒンディー語系3文字

MLE ウルドゥー-4

32

本学との学術交流協定校



パンジャブ大学オールドキャンパス

ガヴァメント・カレッジ大学



ラーホール女子大学

MILE ウルドゥー-5

33

ウルドゥー語を育む風景・人々



MILE ウルドゥー-6

34

ウルドゥー語を育む風景・人々



MILE ウルドゥー-7

35

ウルドゥー語を育む風景・人々



MILE ウルドゥー-8

36

ウルドゥー語を育む風景・人々



MILE ウルドゥー9

37

ウルドゥー語・南アジア地域文化研究 プログラムについて

ウルドゥー語圏の文化、文学、社会などについて幅広く専門的な知識が身につけられます。
正しく理解することで、南アジア地域の魅力が味わえるようになります。
最初の1か月で文字を習得し、その後文法の説明となります。

MILE ウルドゥー10

38

ウルドゥー語・南アジア地域文化研究 到達目標（修了時に身に付く能力）

- ①中級レベル（CEFR/A2もしくはB1相当）のウルドゥー語の運用能力
- ②ウルドゥー語圏の言語、文学、歴史について、基礎的な知識、異文化理解能力

MILE ウルドゥー11

39

ウルドゥー語・南アジア地域文化研究 履修申請と注意点について

必修科目

ウルドゥー語2（初級）2単位
ウルドゥー語12（中級）2単位

注意点

ウルドゥー語11から15（中級）を履修するには、先にウルドゥー語1から5（初級）を修得していることが必要。

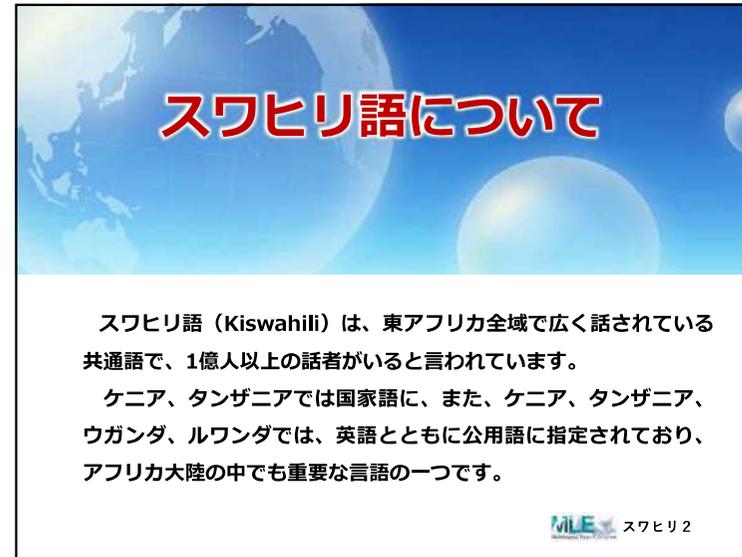
※本プログラムのルールに従って、卒業までに12単位以上を修得すること

MILE ウルドゥー12

40



41



42



43



44

スワヒリ地域の様子(風景編3)



タンザニア最大都市ダルエスサラームの街並み

MLE スワヒリ5

45

スワヒリ地域の様子(風景編4)



ダルエスサラーム港の様子

MLE スワヒリ6

46

スワヒリ地域の様子(食べ物編)



MLE スワヒリ7

47

スワヒリ語専攻の様子(語劇編)



2021年度語劇祭「漁師と魔人」の1シーン

MLE スワヒリ8

48

スワヒリ語専攻の様子(特別講義編)



世界的に有名な親指ピアノ奏者、サカキマンゴー氏による特別講義の1コマ。サカキマンゴー氏は大阪外国語大学時代の卒業生です。

MLE スワヒリ9

49

スワヒリ語・アフリカ研究 プログラムについて

スワヒリ語専攻では、日本で唯一、スワヒリ語とアフリカ地域研究を専攻科目として、学部レベルから学ぶことができます。

また、スワヒリ語やスワヒリ文化のみならず、アフリカのさまざまな地域の言語や文化についても学ぶことができます。

MLE スワヒリ10

50

スワヒリ語・アフリカ研究 プログラムについて

アフリカの言語や文化、社会、政治について、さまざまな面から理解を深めることができるカリキュラムが用意されています。

-  アフリカ地域論概説
-  アフリカ言語学概説
-  アフリカ社会論概説
-  アフリカ政治経済講義 etc.

MLE スワヒリ11

51

スワヒリ語・アフリカ研究 到達目標(修了時に身に付く能力)

中級レベル(CEFR/A2もしくはB1相当)の
スワヒリ語の運用能力

スワヒリ語圏の言語、文学、社会についての
基礎的な知識、異文化理解能力

MLE スワヒリ12

52

スワヒリ語・アフリカ研究 修了要件について

本プログラムのルールに沿って、卒業時までには**12単位以上**を修得すること。

-  初級 4単位以上を選択必修
-  中級 4単位以上を選択必修
-  講義科目（概論） 4単位以上を選択必修

53

スワヒリ語・アフリカ研究 授業科目数と開講場所について

2024年度の予定（両学期ともに）

【初級4単位選択必修、中級4単位選択必修】

-  豊中キャンパス開講 初級5クラス
-  箕面キャンパス開講 初級（兼修語学）2クラス
中級（兼修語学）2クラス、中級5クラス

注意！「スワヒリ語中級」を履修するには、「スワヒリ語初級」を履修済みであることが必要

54

スワヒリ語・アフリカ研究 授業科目数と開講場所について

【講義科目（概論）4単位選択必修】
箕面キャンパス開講

-  アフリカ文化講義・アフリカ言語学講義・アフリカ社会論概説
-  アフリカ地域論概説・アフリカ地域講義
-  アフリカ文学講義・アフリカ文化講義
-  アフリカ政治経済講義 etc

55

デンマーク語・北欧研究 プログラム



56

デンマークについて

- デンマーク王国
- 首都：コペンハーゲン
- 女王：マルグレーデ2世
- 人口：5,792,000人（世界112位）
- 国土：43,094km²（世界130位）
- バルト海と北海に挟まれたユトランド半島およびその周辺の多くの島々からなる立憲君主制国家
- 自治権を有するグリーンランドとフェロー諸島と共にデンマーク王国を構成している。

MLE デンマーク語2

57



MLE デンマーク語3

58

趣旨について

各自の専門分野のみならず、デンマーク語を修得して将来国際舞台で活躍することに意欲を持つ学生を歓迎します。デンマークのみならず北欧に関する授業を受け、デンマークの現状について学ぶことができます。

MLE デンマーク語4

59

修了要件について

- 本プログラムのルールに沿って、卒業時までには**12単位以上**を修得すること。
- 初級 6単位以上を選択必修
- 中級 4単位以上を選択必修
- 講義科目（概論）は、2単位以上を選択必修。

MLE デンマーク語5

60

カリキュラムについて

2024年度の予定（両学期ともに）

語学実習【初級4単位選択必修、中級4単位選択必修】

■ 豊中キャンパス開講 初級6クラス

※特別外国語演習(デンマーク語) I を含む

■ 箕面キャンパス開講 中級5クラス

デンマーク語中級を履修するには、
先にデンマーク語初級を6単位以上修得していることが必要。

MILE デンマーク語6

61

カリキュラムについて

2024年度の予定（両学期ともに）

概論・概説【4単位以上選択必修】

- 北欧現代社会概説b
- 北欧文学概論a
- 北欧史概説a
- 北欧史概説b

MILE デンマーク語7

62

到達目標（修了時に身に付く能力）

中級レベル（CEFR/A2～B1相当）のデンマーク語の運用能力。

デンマークおよび北欧の言語、文化、社会、歴史についての
基礎的な知識、異文化理解能力。

MILE デンマーク語8

63

英語・英米文化学 プログラム



MILE 英1

64

英語・英米文化学 プログラム

英語を学び世界を学ぶ、高い英語の運用能力を持つ
語学と文化、どちらも極めた真の国際人を目指す

MILE 英2

65

英語・英米文化学 趣旨・カリキュラム

2024年度の予定

- ・豊中キャンパス開講
 - ・箕面キャンパス開講
- ※課外の補習クラスについては、**豊中キャンパス**で開講、
またはオンライン個別対応を予定。
各種要件の英語検定スコア達成を目指すクラスです。

MILE 英3

66

英語・英米文化学 目標達成(修了時に身に付く能力)

英語の四技能（リーディング、ライティング、リスニング、
スピーキング）に関して、所定の外部検定試験スコア相当の
高い運用能力を有する。

英語圏の言語、政治、経済、社会、歴史、思想を深く理解す
るとともに、英語で関連テーマについて高度なレベルのプレ
ゼンテーションやディスカッションを行うことができる。

MILE 英4

67

英語・英米文化学 修了要件について

- 本プログラムのルールにそって、卒業時まで
24単位以上を修得すること。
- プログラム修了時の1月末までに、TOEFL
(PAPER) 580点以上ないしは別に定める
外部検定試験のスコアを提出すること。

MILE 英5

68

別表：英語・英米文化学プログラム・2024年度検定試験スコアの提出について

【英語・英米文化学構成科目】の種類については、所定の検定試験のいずれかを受検し、基準を満たすスコアの写し（画像）を期限までに提出する必要があります。有効期限日、提出期限に注意のうえ、漏れのないよう手続きしてください。

種別・検定科目	検定科目	2024年度 検定科目 履修要項要件	2024年度 検定科目 履修要項要件	有効期限日	提出期限
・英語学・文学・文化・コミュニケーション a	2024年度 検定科目 履修要項要件	入学以降に取得したもの	履修中試験1コース満席	最終期間：2024年4月1日	最終期間：2024年4月1日
	2024年度 検定科目 履修要項要件	入学以降で、なおかつ 2023年4月1日以前	単位取得年度の1月末日		
・英語学・文学・文化・コミュニケーション b	2024年度 検定科目 履修要項要件	入学以降に取得したもの	履修中試験1コース満席	最終期間：2024年10月15日	
	2024年度 検定科目 履修要項要件	入学以降で、なおかつ 2023年4月1日以前	単位取得年度の1月末日	2025年1月24日	
・(英語学・英文学・英語会話・英語作文) I a ・(英語学・英文学・英語会話・英語作文) II a ・(英米文化) I, II, III, IV, V, VI a	2024年度 検定科目 履修要項要件	入学以降に取得したもの	履修中試験1コース満席	最終期間：2024年4月1日	最終期間：2024年4月1日
	2024年度 検定科目 履修要項要件	入学以降で、なおかつ 2023年4月1日以前	単位取得年度の1月末日	2025年1月24日	
・(英語学・英文学・英語会話・英語作文) I b ・(英語学・英文学・英語会話・英語作文) II b ・(英米文化) I, II, III, IV, V, VI b	2024年度 検定科目 履修要項要件	入学以降に取得したもの	履修中試験1コース満席	最終期間：2024年4月1日	最終期間：2024年4月1日
	2024年度 検定科目 履修要項要件	入学以降で、なおかつ 2023年4月1日以前	単位取得年度の1月末日	2025年1月24日	
・Academic Writing Courses a ・Academic Presentation Courses a ・Writing Seminars a	2024年度 検定科目 履修要項要件	入学以降に取得したもの	履修中試験1コース満席	最終期間：2024年4月1日	最終期間：2024年4月1日
	2024年度 検定科目 履修要項要件	入学以降に取得したもの	履修中試験1コース満席	最終期間：2024年10月15日	
プログラム履修要件		入学以降でプログラム履修 卒業要件を満たす単位取得 履修要項要件			プログラム履修年度の1月末日
検定試験	英検英検合格判定	準1級以上	準1級以上	準1級以上	準1級以上
	TOEIC iBT	800以上	800以上	700以上	800以上
	TOEFL iBT	90以上	90以上	80以上	90以上
	TOEFL iBT	20以上	20以上	20以上	20以上
	IELTS (Academic)	5.5以上	5.5以上	5.0以上	5.5以上

【備考】(1) 履修中試験 科目履修申請時にスコア提出する取得 (履修要項要件) の画像を、メールに添付して履修科目とともに送付してください。(送付先アドレスは、入学案内の「入学・入試」欄の「お問い合わせ先」欄に記載されています。)(2) 検定試験のスコア提出は、入学案内の「入学・入試」欄の「お問い合わせ先」欄に記載されています。(3) 検定試験のスコア提出は、入学案内の「入学・入試」欄の「お問い合わせ先」欄に記載されています。(4) 検定試験のスコア提出は、入学案内の「入学・入試」欄の「お問い合わせ先」欄に記載されています。(5) 検定試験のスコア提出は、入学案内の「入学・入試」欄の「お問い合わせ先」欄に記載されています。



イタリアについて

芸術、文学、思想、科学、音楽、あるいは映画やファッションにいたるまで、中世・ルネサンス以来、西洋の文化において大きな存在感を示してきました。

イタリア語の習得は、多彩な文化領域の研究と実践に直結しています。

MILE イタリア2



イタリア語・イタリア文化学 趣旨・カリキュラム

オリジナルな教育プログラム



語学・言語文化・文学・歴史・社会学など
さまざまな文化領域の講義・演習

MLE イタリア4

73

イタリア語・イタリア文化学 到達目標(修了時に身に付く能力)

- 中級レベルのイタリア語の運用能力
- イタリア語圏の言語・文学・歴史についての基礎的な知識

MLE イタリア5

74

イタリア語・イタリア文化学 科目履修申請と履修登録について

- ・ 所定の期日までに履修したい科目をメールでMLE担当者に申請 (KOANでは登録できない)
- ・ 「**イタリア語中級**」を履修するには、**「イタリア語初級」**を履修済であることが必要。
- ・ 文学部の学生は、「イタリア語初級Ⅰ・Ⅱ」については、卒業要件単位となり、1年次で修得していた場合も当プログラムの修了要件として認める。

MLE イタリア6

75

イタリア語・イタリア文化学 修了要件について

- ・ 本プログラムのルールに沿って、卒業時まで**12単位以上**を修得すること
- ・ 初級 2単位以上を選択必修
- ・ 中級 2単位以上を選択必修 (**先に初級を修得していること**)
- ・ 講義科目(概論) 4単位以上を選択必修

MLE イタリア7

76

イタリア語・イタリア文化学 授業科目数と開講場所について

2024年度の予定(両学期ともに)

- ・豊中キャンパス開講 4クラス(初級)、2クラス(中級)
- ・箕面キャンパス開講 6クラス(初級)、4クラス(中級)

概論

- ・箕面キャンパス開講 18クラス

遠隔配信授業(吹田キャンパス・豊中キャンパスで受講できる)

- ・箕面キャンパスから配信 2クラス(概論)

MLE イタリア 8

77

スペイン語・スペイン文化学 プログラム



MLE スペイン 1

78

スペイン語について

スペイン語は、ローマ人が話していたラテン語から発生した言語で、フランス語・イタリア語・ポルトガル語・ルーマニア語などと兄弟関係にあります。スペインはもとよりラテンアメリカの大多数の国々やアメリカ合衆国の一部で3億人以上の人々がスペイン語を話しています。

MLE スペイン 2

79



MLE スペイン 3

80

スペイン語・スペイン文化学 趣旨・カリキュラム

各自の専門分野のみならず、スペイン語を修得して将来国際舞台で活躍することに意欲を持つ学生を歓迎します。

外国語学部が開講する授業科目のうち、兼修語学のスペイン語初級および中級の実習科目、および専攻科目の概論に該当する講義科目で構成されたプログラムを提供します。

MILE スペイン4

81

スペイン語・スペイン文化学 達成目標(修了時に身に付く能力)

スペイン語の運用能力に関して、
中級レベル (CEFR/A2もしくはB1相当) の能力を有する。

スペイン語圏の言語、文学、歴史について、基礎的な知識を幅広く身につけ、異文化を正しく理解できる。

MILE スペイン5

82

スペイン語・スペイン文化学 科目履修について①

- スペイン語中級を履修するには、スペイン語初級(2単位)を修得していることが必要である。
- 春～夏学期と秋～冬学期で同じクラスを履修すること。
- スペイン語中級ⅠとⅡはどちらから履修しても構わない。

MILE スペイン6

83

スペイン語・スペイン文化学 科目履修について②

- 本プログラムのルールに沿って、卒業時までには**12単位以上**を修得すること。
- **文学部と人間科学部において、**第2外国語としてスペイン語の単位を修得した者にはスペイン語初級(2単位)を免除し、スペイン語中級4単位と講義6単位以上の修得でプログラム修了とみなす。

MILE スペイン7

84

スペイン語・スペイン文化学 授業科目数と開講場所について

2024年度の予定

- ・ 豊中キャンパス開講 初級 4クラス
- ・ 箕面キャンパス開講 初級 10クラス、中級Ⅰ 6クラス、
中級Ⅱ 4クラス、概論 4クラス

遠隔配信授業：豊中キャンパスと吹田キャンパスで受講できます。（2023年度実績）

- 「スペイン文学概論」（春～夏学期）
- 「スペイン語学概論a」（秋～冬学期）
- 「スペイン歴史文化概論b」（秋～冬学期）

MILE ス페인 8

85

ポルトガル語・ポルトガル語圏文化学 プログラム



MILE ポルトガル 1

86

ポルトガルについて①

ポルトガル語圏は世界の5大陸にまたがっていて、スペイン語のように南米に集中しているわけではないというのがその特徴のひとつです。ポルトガル語は世界史の中でユニークな位置を占めるポルトガル、南米の大国ブラジル、旧ポルトガル植民地だったアンゴラ、モザンビークなどのアフリカ諸国の公用語です。また東ティモールの公用語のひとつでもあります。

MILE ポルトガル 2

87

ポルトガルについて②



↑内観
ハリーポッターのモデルのレロ書店
←外観

正式名称はポルトガル共和国です。

1143年に統一国家を形成し、15～16世紀にかけての大航海時代で繁栄しました。

MILE ポルトガル 3

88



89



90

ポルトガル語・ポルトガル語圏文化学 趣旨・カリキュラム

各自の専門分野のみならず、ポルトガル語を修得して将来国際舞台で活躍することに意欲を持つ学生を歓迎する。

外国語学部が開講する授業科目のうち、兼修語学のポルトガル語初級・中級（および、マルチリンガル教育センター提供の「第3外国語」）の実習科目、および専攻科目の概論に該当する講義科目で構成されたプログラムを提供する。

MILE ポルトガル6

91

ポルトガル語・ポルトガル語圏文化学 到達目標（修了時に身に付く能力）

中級レベル（CEFR/A2もしくはB1相当）のポルトガル語の運用能力。

ポルトガル語圏（ブラジル・ポルトガル）の言語、文学、社会、歴史についての基礎的な知識、異文化理解能力。

MILE ポルトガル7

92



ポルトガル語・ポルトガル語圏文化学 修了要件について

- 本プログラムのルールに沿って、卒業時まで**に12単位以上を修得すること。**
- 初級は、「兼修語学」（初級）、もしくは「第3外国語」（ポルトガル語）から4単位以上を選択必修
- 中級は、「兼修語学」（中級）2単位必修
- 講義科目（概論）は、4単位以上を選択必修。

 ポルトガル8

Multilingual Expert Program

2024年度

マルチリンガル・エキスパート養成 (MLE)
学部プログラム

履修生
募集

学部生対象

外国語学部 開設プログラム

MLE学部プログラムは、多言語に精通し、現代世界の喫緊の課題に取り組む専門的な知識を備え、グローバルに活躍できる人材を養成することを目的とする**部局横断型の副専攻的教育プログラム**で、専門分野に加え、他の文系・理系学部の専門教育レベルの授業を体系的に学修することができます。2015年度に始まり、現在プログラム全体で200名の選抜された学生が履修中です。総合大学ならではのこの環境を最大限利用してみませんか。

募集プログラム (募集はいずれも若干名)

※QRコードを読み取ると各専攻語の紹介動画にアクセスできます。
一部、MLEプログラム対象外の授業の説明が含まれております。

■ 2024年度に**大阪大学の学部の2、3年次**に在学する正規学生対象 (外国語学部生は対象外)

レギュラープログラム (卒業までに所定の履修方法に従って**24**単位以上修得すること)

英語・英米文化学



ショートプログラム (卒業までに所定の履修方法に従って**12**単位以上修得すること)

スペイン語・スペイン文化学



ポルトガル語・ポルトガル語圏文化学



イタリア語・イタリア文化学



インドネシア語・インドネシア研究



スワヒリ語・アフリカ研究



ベトナム語・東南アジア研究



デンマーク語・北欧研究



ウルドゥー語・南アジア地域文化研究



NEW

ハンガリー語・ハンガリー研究



問合先：人文学研究科質面事務部 マルチリンガル・エキスパート 養成プログラム (MLE)

Email : multilingual@office.osaka-u.ac.jp URL : <http://www.mle.osaka-u.ac.jp/>

手続きについて

- 【申請期間】 **2024年1月15日(月)～2月21日(水) 12:00 必着**
【対象者】 2024年度に**大阪大学の学部の2、3年次に在学予定**の正規学生
【申請方法】 1つのプログラムを選択し、MLE事務担当にメール申請すること

履修生の声

英語・英米文化学

英語や英語圏の文化を深く知りたいと考え、MLEの英語・英米文化学プログラムを履修しました。外国語学部が開講する授業を履修するため、もともと配当されている英語の授業から一歩進んだ詳しい解説や活発な議論が多く、非常に楽しく学べます。

(工学部生)

私の履修している英語・英米文化学のプログラムは、暗記も必要な英語ですので、かなりの量の自主的な勉強を求められますが、自分の専門科目以外を準専門的に学べることは、大阪大学で2倍得をしているようなものです。また、他学部の優秀な学生とともに少人数のクラスで勉強できるので、あなた自身へのいい刺激になると思います。

(法学部生)

スペイン語・スペイン文化学

元々外国語の学習が好きでしたので、さらに多言語も身に付けたいと考えたからです。最初はスペイン語の授業だけでいいのになあなど思ったりもしたのですが、概論の授業も毎回とても面白く、勉強になりました。特に「スペイン文学概論」は私の全く知らなかった世界を見せていただきました。

(人間科学部生)

語学をじっくり勉強できるのは、外国語学部のある大阪大学の良いところです。他の学部の雰囲気味わうことは楽しいです。スペイン語の理解も深まり、外国語学部特有の雰囲気やモノの見方を広げることは、自信にもつながります。普段3つのキャンパスを行き来していますが、再履バスを利用すればそれほど大変でもありませんでした。語学を頑張りたい人や、大学生として何かチャレンジしたい人は是非受講してみてください。

(経済学部生)

イタリア語・イタリア文化学

学部卒業まででみたら単位数はそれほど多くないので、計画的に履修すれば修了は可能だと思います。英語と違う新しい言語を学ぶのは大変ですが、その分の達成感はとても大きいと思います。

(文学部生)

インドネシア語・インドネシア研究

マイナー言語を学ぶ機会は、なかなかないだろうと思い、インドネシア語を履修しました。学部の履修の中にインドネシア語が入ることは、気分転換の様にも感じられ、箕面キャンパスの開講の授業もオンライン参加できるなどの配慮もあります。もともと東南アジア地域文化を魅力的に感じており言語に触れる機会を楽しんでいます。MLEを通じて文化や歴史に対する理解を深め、その魅力をさらに知りたいと考えています。

(法学部生)

- ※卒業までに所定の単位数を修得した履修生には、総長と外国語学部長との連名によるMLE学部プログラム修了認定証が授与されます。
※履修申請書の様式はMLEのホームページで入手できます。
※外国語学部生は、履修対象外です。
※各プログラムの定める方法に従って履修生を選考し、3月末ごろ発表します。
※詳細については、案内冊子、ホームページをご覧ください。

問合先:人文学研究科箕面事務部

マルチリンガル・エキスパート養成プログラム(MLE)

Email:multilingual@office.osaka-u.ac.jp

URL:<http://www.mle.osaka-u.ac.jp/>



MLE
ホームページ

履修生 募集

Multilingual Expert Program

2024年度

マルチリンガル・エキスパート 養成(MLE)大学院プログラム

MLE大学院プログラム(MLE)は、2018年度に大阪大学大学院副専攻プログラムとして、開設しました。多言語に精通し、現代社会の喫緊の課題に取り組む専門的な知識を備え、グローバルに活躍できる人材を養成することを目的としています。

募集プログラム(募集はいずれも若干名)

■ 2024年4月に大阪大学の大学院(人文学研究科外国学専攻を除く)の修士もしくは博士前期課程に入学する者
または、2023年10月に大阪大学の大学院(人文学研究科外国学専攻を除く)の修士もしくは博士前期課程に入学した者

副専攻プログラム(卒業までに所定の履修方法に従って14単位以上履修すること)

[人文学研究科外国学専攻]
言語文化学

申請期間:2024年2月19日(月)~3月8日(金)12時必着

申請方法

以下の書類を簡易書留など記録の残る方法にて郵送すること。

①履修申請書 ②最終学校の成績証明書の写し ③外国語の能力を証明するものの写し

問合せ・申請先：〒562-8678 大阪府箕面市船場東3丁目5番10号
大阪大学人文学研究科箕面事務部
マルチリンガル・エキスパート養成プログラム(MLE)



大阪大学
OSAKA UNIVERSITY

Email: multilingual@office.osaka-u.ac.jp

URL: <http://www.mle.osaka-u.ac.jp/>



MLE HP

2024年度 大阪大学マルチリンガル・エキスパート養成
「学部プログラム」 履修申請書

履修希望プログラム名				
履修申請者	所 属	学 部		年
	ふりがな 氏 名		学籍 番号	
	【連絡用メールアドレス】（添付書類を受け取ることができるもの）			
志 望 理 由 （1,000字程度）				